

# 戦後 70 周年特別講演会

## 満洲引揚げ、中国残留を問い直す

2015年7月16日(木) 18:00 (17:30 開場) ~20:30

上智大学 四谷キャンパス 中央図書館 9階(L911室)

### ■ 講演者 ■

ポール・邦昭・丸山 「戦後 70 年：170 万同胞満洲からの引揚げ」

城戸幹 「中国残留孤児という人生 —「孫玉福」と「城戸幹」として生きる」

城戸久枝 「「満洲国」、「あの戦争」そして私たち —父の歴史から考える」

【司会進行】 上田貴子 (近畿大学) ・ 蘭信三 (上智大学)



### 【趣旨】

1945年夏、約155万の日本人が「満洲国」に生きていた。そして「満洲国」崩壊過程で17万人が亡くなり、残る人たちは引揚げ、約1万人の残留孤児・残留婦人が中国に残された。この「満洲国」崩壊を経験しながらも、それぞれまったく異なる戦後を生き延びた二人がいた。敗戦後の在満日本人の惨状を政府に直訴するため決死の覚悟で帰国した丸山邦雄の息子のポール・丸山と、残留孤児・孫玉福として中国に生きた城戸幹である。そして城戸幹の娘・久枝は、日本で「普通」に育つが、中国留学で城戸幹の孫玉福としてのもう一つの人生に出会い、「あの戦争」に続く個人史と、日中のグローバルな歴史を知る。本講演会では、三人の生きられた人生を手掛かりに、1932年に関東軍によって建国された「満洲国」、「あの戦争」によってもたらされた東アジアの歴史を、中・日というトランスナショナルな視点とともに、中・日・米という環太平洋の視点からとらえ直したい。

【主催】 上智大学総合グローバル学部・蘭研究室

(科研費・基盤研究(A)「二〇世紀東アジアをめぐる人の移動と社会統合」による)

【お問い合わせ先】 E-mail: kaken25245060@gmail.com

## 【講演者】

**ポール・邦昭・丸山** 1941年東京生まれ。丸山邦雄の三男「満洲」からの引揚げを体験。ハワイ大学 MBA 取得。アメリカ空軍中佐退役後、コロラド・カレッジで日本語教育に従事、名誉講師。元南コロラド日米協会創設者兼会長。日米友好親善の促進に寄与したことで2013年旭日小綬章受章。1964年東京オリンピック柔道選手。1980年、1984年五輪コーチ（アメリカ代表）。著書に（高作自子訳）『満洲 奇跡の脱出』柏艸舎。



<http://www.hakurosy.com/manchuria/>

**城戸 幹** 1941年、旧「満洲」東北部の三江省富錦生まれ。1945年8月、終戦の混乱により両親と生き別れ、牡丹江市近郊の頭道河子村で中国人夫婦の養子となる。以降、戦後混乱期の中国を孫玉福（スンユイフー）として生きる。愛媛県在住。1959年、日本赤十字社等への手紙の投函を開始。文化大革命の中を生き抜き、ついに1970年に日本の両親と再会を果たした。著書に『醜の媽媽』（『孫玉福 39年目の真実』改題）（情報センター出版局、2009年／文春文庫、2014年）。



<http://www.4jc.co.jp/books/detail.asp?id=2158>

**城戸 久枝** 1976年、愛媛県生まれ。ノンフィクション・ライター。

『あの戦争から遠く離れて—私につながる歴史をたどる旅』（情報センター出版局、2007年／文春文庫、2012年）で第39回大宅壮一ノンフィクション賞、第30回講談社ノンフィクション賞などを受賞。

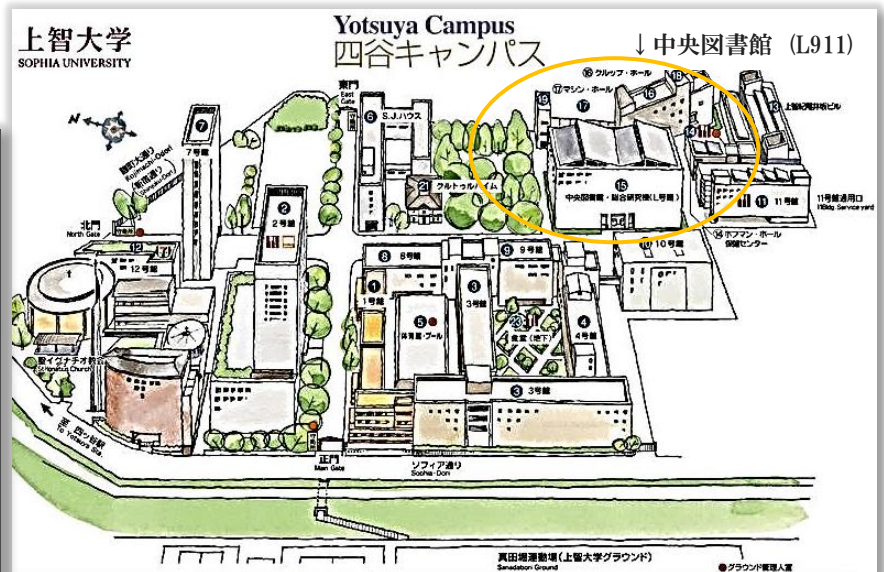
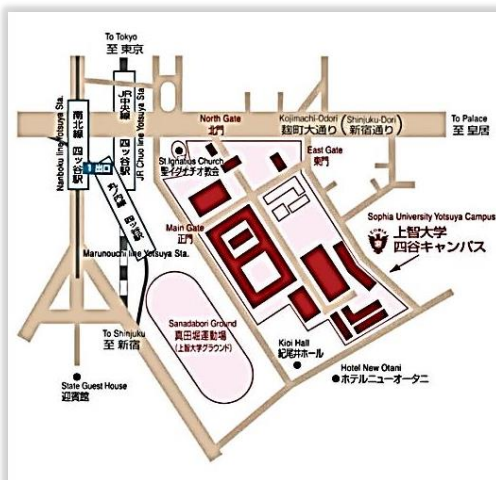
「遙かなる絆」と題してNHKでドラマ化される。 <http://www.4jc.co.jp/free/t/anosensou/tokushu.html>

その他の著書に『長春発ビエンチャン行—青春各駅停車』（文芸春秋、2011年）。

『祖国の選択あの戦争の果て、日本と中国の狭間で』（新潮社、2015年）。

<https://www.shinchosha.co.jp/book/338071/>

## 【アクセス】



〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

JR 中央線、東京外口丸ノ内線・南北線/四ツ谷駅（麹町口・赤坂口から徒歩8分）